

清野 (江陵) は総合150位 個人

体 操

(3日、東京・国立代々

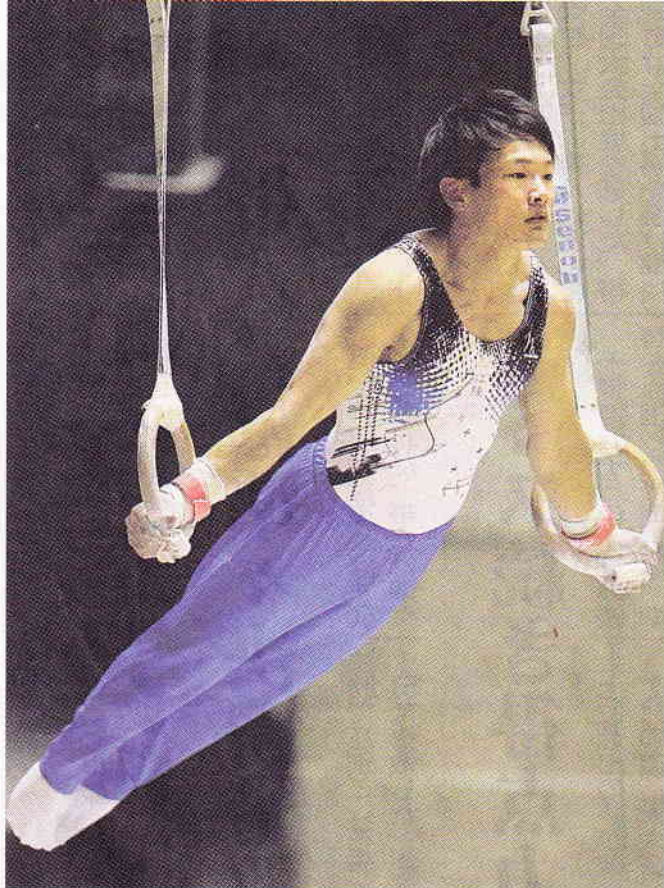
木競技場第一体育館) 予選を行った。3日の男子

0位(計71・850点)で、

木競技場第一体育館

初日の2日に続き、男女

予選個人に出場した清野竜仁(江陵2年)は総合150



【体操・男子個人総合予選】つり輪の演技をする江陵の清野竜仁(田村直子撮影)

団体の上位16チーム通過者を除く個人上位20人による個人選手権と、各種目上位1人が加わる種目別選手権の決勝には進めなかった。

(岩城由彦)

開き直り安定

床で14点台も

清野

○：初のインターハイは「緊張した」。道大会で優勝した2種目目の跳馬で着地を乱しマットの外に飛び出したが、「気持ちがかぶって切れた」と開き直った。

その後は安定感を取り戻し、得意の床運動は14点台をマークする高さのある跳躍を成功させた。「床、つり輪、平行棒、あん馬で自分の力を出せた。楽しく、いい経験ができた。来年も

出場したい」と意欲を燃やしていた。

(関係分)

【男子】◇個人総合▽予選

⑩清野竜仁(江陵) 71・8

50(床14・000、あん馬

11・000、つり輪12・30

0、跳馬12・350、平行棒

12・000、鉄棒10・200)